

体育科学学位プログラム 健康スポーツ医科学コース（博士後期課程）

養成する人材像	体育スポーツに関連する普遍的並びに現代的問題の解決を目指し、幅広い学識と高度な専門的知識を有し、自立した教育者・研究者として高度の学術研究により国際社会に貢献できる人材を養成する。特に、運動や身体活動と健康増進・疾病予防との関係に関する研究を自立的に遂行し、健康課題を科学的に解明・解決できる研究者を養成する。									
教育研究の特徴	人々の心身の健康増進や疾病予防において、運動や身体活動は不可欠です。これらは生体の諸機能にさまざまな変化や適応をもたらすため、その実践には科学的根拠が求められます。本コースでは、生理学・医学・疫学などの知見に基づき、運動や身体活動が人々の健康増進や疾病予防に及ぼす影響について、マイクロ（細胞レベル）からマクロ（個体レベル）まで包括的に理解を深めます。また、子どもから高齢者に至る各ライフステージに応じた最適な運動や身体活動の重要性について探究します。 本コースでは、ウェルビーイングを支える運動や身体活動に関する科学的知見に基づく理論と実践を積み重ねることで、次世代の体育学研究を切り拓く研究者を育成します。 1年次には、共通科目（身体総合学術論、研究報告演習）およびコース専修科目（健康スポーツ医科学特論演習）を通して、体育学を基盤とした専門領域への理解を深めます。あわせて、研究指導科目（体育科学研究Ⅰ）を履修することで、健康スポーツ医科学研究に必要な計画力と遂行力を身に付けます。 2～3年次には、研究指導科目（体育科学研究Ⅱ・Ⅲ）を履修するとともに、博士論文に関する調査・研究を推進し、博士論文を完成させることで、博士（体育学）の学位取得を目指します。									
修了後の進路	大学教員/中学校・高等学校教諭（保健体育）／養護教諭／専門学校教諭スポーツ指導者／スポーツ競技団体職員／スポーツ関連機関職員／スポーツ関係企業人／医療機関職員など									
科目区分	1年次		2年次				3年次			
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期		
大学院共通科目	身体総合学術特論 2									
研究群共通科目	研究報告演習 2 英語論文ライティング (通年)	英語論文ライティング 2								
専修科目	健康スポーツ医科学特論演習 2									
研究指導科目	体育科学研究Ⅰ (通年)	体育科学研究Ⅰ 2	体育科学研究Ⅱ (通年)	体育科学研究Ⅱ 2	体育科学研究Ⅲ (通年)	体育科学研究Ⅲ 2				
履修方法	次の履修方法により、12単位以上を修得すること。 (1) 大学院共通科目: 2単位 (2) 共通科目: 2単位 ※「研究報告演習」は必修 (3) 専修科目: コーチング科学学位プログラムの科目から2単位 (4) 研究指導科目: コーチング科学研究Ⅰ～Ⅲの6単位 ※研究指導教員が担当する科目を選択する。									
修了要件	3年以上在学し、各学位プログラムが定める修了に必要な授業科目を12単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。									
その他の学修・研究	学会発表	論文投稿 学会発表	論文投稿 学会発表	論文投稿 中間発表会 学会発表	学会発表	博士論文作成 博士論文審査 最終試験 最終発表会				